

山陽小野田市議会

平成27年3月議会 議会報告会

プログラム

- * 開会挨拶
- * 3月議会の報告
 - 民生福祉常任委員会
 - 産業建設常任委員会
 - 総務文教常任委員会
 - 一般会計予算決算常任委員会
- * 質疑応答

民生福祉常任委員会

議案第20号 平成27年度山陽小野田市
病院事業会計予算について
議案17件

新市民病院（4月1日グランドオープン）



平成27年度 病院事業会計予算



● 概要

	27年度予算	26年度予算	備 考
一日平均入院患者数	183人	175人	8人増
年間入院患者数	66,978人	64,047人	2,931人増
一日平均外来患者数	500人	460人	40人増
年間外来患者数	121,500人	111,320人	10,180人増
医業収益	37億4,500万円	35億2,300万円	2億2,200万円増
病院事業収益(全体)	40億2,600万円	40億6,600万円	院外処方実施
病院事業費用(全体)	42億5,300万円	56億2,300万円	病院建設費の減

● 主な論点

- * 待ち時間が長い
→ 医師クラークの活用、中央処置室での検査の一元化、患者動線の見直し
- * 医師の増員について
→ 2名増の常勤医師26名体制になる。
- * 新年度から
医療情報ネットワーク「さんさんネット」へ加入
院内保育所の設置、夜間保育も実施
路線バスの新病院乗り入れ開始



- 結果 全員賛成で可決

質疑応答

- * 発言の前に自治会名とお名前をお願いします。
- * 質問は一問一答で行います。
- * 質問内容は簡潔に1分以内くらいにまとめてください。

産業建設常任委員会

議案第5号 平成26年度山陽小野田市
下水道事業特別会計補正予算(第4回)に
ついて 他 計 議案12件

駐車場事業特別会計予算

● 概要

- ① 歳入及び歳出 3958万2千円
- ② 駐車場使用料 2710万4千円
- ③ 公債費 1979万7千円



● 主な論点

- ① 駐車場会計の収支を考えると、29年度以降の値下げになる
- ② 使用料の値下げによる需要の増加を算出するのは難しい

● 結果 可決(賛成多数)

駐車場使用料の見直し検討試算 ※現在 日額1000円

(H28～ 日額300円)

千円

	H28	H29	H30
使用料等	7,656	7,656	7,656
繰越金	15,549	0	0
一般会計繰入金	2,547	18,096	2,871
歳入合計 (A)	25,752	25,752	10,527
歳出合計 (B)	25,752	25,752	10,527
収支 (A)-(B)	0	0	0

(H29 日額800円/H30 日額300円)

千円

	H28	H29	H30
使用料等	25,256	17,656	7,656
繰越金	15,549	15,053	6,957
一般会計繰入金	0	0	0
歳入合計 (A)	40,805	32,709	14,613
歳出合計 (B)	25,752	25,752	10,527
収支 (A)-(B)	15,053	6,957	4,086

質疑応答

- * 発言の前に自治会名とお名前をお願いします。
- * 質問は一問一答で行います。
- * 質問内容は簡潔をお願いします。

総務文教常任委員会

議案第6号 平成26年度山陽小野田市
小型自動車競走事業特別会計補正予算
(第3回)について 他
計 議案18件、請願1件

学校給食を親子方式での請願

● 概要

学校給食施設について、市計画の1センター方式には食育、リスク分担等に問題がある。小野田地区の親子方式を山陽地区にも整備し、市内を親子方式で実施して欲しい。

● 主な論点

- ①約4500名の署名と共に請願が出された
- ②26年度本会議、27年度委員会で修正可決
- ③議会指摘の8項目は改善されたか
- ④栄養教諭など現場説明は十分行われたか

● 結果 賛成少数で不採択



一般会計予算決算常任委員会

承認第1号 平成26年度山陽小野田市一般会計補正予算(第6回)に関する専決処分について

議案第1号 平成26年度山陽小野田市一般会計補正予算(第7回)について

議案第11号 平成27年度山陽小野田市一般会計予算について

計 議案3件

平成27年度一般会計予算

予算総額 248億500万円

前年度比 △ 34億8,140万円(△12.3%)

● 審査方法

主要事業として53事業を中心に審査

● 主な審査事業

- ・ 山口東京理科大学公立化準備事業
- ・ 移住用プロモーションビデオ作成事業
- ・ 地域公共交通網形成計画策定支援事業
- ・ 山陽小野田市地域通貨事業
- ・ 学校給食共同調理場建設事業

1 山口東京理科大学公立化準備事業

● 概要

- ・ 平成28年4月 公立化
- ・ 平成29年4月 薬学部新設
申請手続など準備事業に関する旅費

● 明らかになったこと

大学開学の際、当面の運営経費として一般会計からの借り入れの可能性はある。

● 議会としての対応

特別委員会を設置し、大学の公立化、薬学部の新設に伴う本市への影響等を調査し、公立化の妥当性を検討する。

2 学校給食共同調理場建設事業

● 概要

5,500食規模の1センター方式の調理場を建設

● 議会からの指摘への取組み(別添資料1)

- ・ 業者への説明
- ・ 食育
- ・ 災害対応
- ・ リスク分担
- ・ アレルギー対応
- ・ 市民合意
- ・ 地産地消
- ・ 2年前の基本計画との差異

① 米飯、パン業者、食材小売店への説明不足。 市内業者育成・支援に逆行、民業圧迫



- ・ 給食センター移行後も当面、パン給食を現行どおり週2回実施する。
- ・ 青果物は、小野田中央青果と今の業者とで、ともに納入できる体制を作る。
- ・ 青果物以外は、16業者が引き続き販売、配達する。
- ・ 給食センターに設置する食品選定委員会に諮り、栄養教諭の意見も聞いた上で、市内業者に優先的に発注する。

② 食育に対する取組みに疑問 (栄養教諭2名に減)



- ・ 県の栄養教諭が想定より1人多い3人配置となる可能性が非常に高い。
- ・ 給食管理業務を4人で分担するので、効率的に業務をこなし、空いた時間を食育に充てる。
- ・ 全小・中学校に食育推進員を1人ずつ配置する。
- ・ 給食センターに見学スペース、食育展示スペース、研修室を設置する。

⑤ アレルギー対応について説明が不十分



- ・「学校における食物アレルギー対応の手引」を給食センター用に部分修正
- ・アレルギー対応の先進的な取り組みをしている県外の給食センターを栄養教諭等の関係者で視察
- ・給食センターにアレルギー調理室を設置。床面積は光市や宇部市の約3倍の45㎡
- ・栄養教諭3人、栄養士1人で対応できない場合は、栄養士の増員を検討

○ アレルギー食の調理から配送までの流れ

- ・別添資料2 参照

● その他の明らかになったこと

- ・事業の期間は、平成27年度から29年度まで
- ・平成27年度は、土地の購入、測量調査や地質調査、基本設計と実施設計を行う。
- ・平成28年度は、建築工事、厨房設備の設置を行う。
- ・平成29年度は、配送業者を決め、夏休みに調理と配送のリハーサルを繰り返す。
- ・平成29年9月1日から供用開始する。

● 修正案

(内容)

施設の用地購入費を100万円に減額

(理由)

昨年3月に修正可決したが、これについて十分な納得が得られなかった。1センターありきで、市民や現場への説明が急に行われた。また、アレルギー対策の不安も払拭されていない。

● 結果 委員会 賛成多数で修正可決

本会議 賛成少数で修正案否決
賛成多数で原案可決

平成27年度一般会計予算に対する附帯決議

- 1 人口増につながる積極的な施策の展開を図ること。
子育て支援の拡充・地方創生総合戦略計画の早期策定・定住促進事業の推進
- 2 ふるさと寄付金の拡充を図り、観光振興にも結びつけ、もって情報発信に資すること。
- 3 プレミアム付商品券の活用を図り、地域通貨の拡充にもつなげ、地域振興の活性化を図ること。
- 4 実効性のある計画作成に努め、本市全体の公共交通体系の基本理念を確立すること。
- 5 機能的で機動力ある組織機構の確立と事務量と事務の内容に則した人的配置に努めること。
- 6 地方創生事業については、全庁的な体制を確立し、効率かつ迅速な取り組みを図ること。

質疑応答

- * 発言の前に自治会名とお名前をお願いします。
- * 質問は一問一答で行います。
- * 質問内容は簡潔をお願いします。

ありがとうございました

アンケートにご協力ください